

新潟県剣道連盟会報

第 90 号

平成 24 年 12 月 21 日

発行

新潟県剣道連盟

事務局 〒 950-0916
新潟市中央区米山 5 丁目 1-25
小林ビル 4 階
TEL 025 - 244 - 3481
FAX 025 - 244 - 3482

【定例理事会】

8月25日(土)午後1時30分から、新潟市ユニゾンプラザにて定例の理事会を開催しました。

- 1、開会宣言・篠京之事務局長
- 2、会長挨拶・齋藤 榮副会長

※毛島会長お休み

- 3、議長選出・齋藤 榮副会長
- 4、議事録署名人選出
伊藤・西潟

- 5、議案審議

第1号議案

剣道有功賞、少年剣道教育奨励賞の推薦について

※県としては個人1名、団体7団体を(財)全日本剣道連盟に推薦する。11月3日に正式決定する。

第2号議案

各支部からの名簿を求める件について

※会則・会費の徴収等の変更に伴い、総会・理事会では、会員の把握について要望が出されてきました。正確な会員把握による会費徴収は、公平な負担による公正な財務運営、会計処理の基本となるものであります。

① 会員名簿の提出時期

毎年1月1日時点の名簿を、1月末日までに提出。

② 名簿記載の内容

県作成の名簿様式(エクセル)による。代表者の押印した印刷物と電子データの両方を提出する。電子メール添付、CD、DVDとする。

③ 新潟県剣道連盟会費への反映

会費見直しの年には、その年の1月1日付名簿に記載された人数を基準に会費を算定する。

④ 昇段審査の受審資格の判定

各支部の名簿に記載の者でなければ、昇段審査を受けることはできない。ただし、中学生・高校生・大学生・警察学校生徒・外国人は除く。尚、昇段審査実施日直近の名簿に記載されていない者が昇段審査を受ける場合は、別紙理由書に必要事項を記載し、変更の名簿を提出しなければならぬ。

⑤ 平成25年1月1日付の名簿提出に向け準備をし、2月1日以降の審査に適用したい。

第3号議案

財団法人設立準備金の返金について

※平成13年3月31日付資料に基づき、各団体・支部から徴収した準備金を、別紙資料の通り返金します。

つきましては、振込口座を県に提出してください。

① 支部連盟に対して、県が要求したものについては返金する。個人の好意で納めたものについては、返金をしない。

第4号議案

刈羽剣道会の脱退届受理及び今後の対応について

※6月21日付で提出された退会伺書を受理します。尚、本年度分の分担金は未納入であるが、年度当初の脱会届であること等を考慮し、分担金6万円の4月5月の2カ月分、1万円として納入させる。(年度途中での脱退届に伴う分担金納入金額規程はありません)

第5号議案

新規加入連盟の承認について

※7月17日付、杖道部会より加盟の申請があり、会則に照らし受理しました。分担金については、剣道・居合道にも加入している会員も多いため、会則に定めた分担金の3分の1の金額(3万6千円)

とし、今年度分は月割とし7カ月分(9月、25年3月)の2万1千円とします。

第6号議案

県剣道連事務局長適任者の推薦依頼について

① 対象は、篠事務局長及び山崎事務局長。

② 2名とも在任期間が長期に及んでいる一方、職場での中堅の立場から、県連業務との双方に支障をきたし、本人にとっても負担になっている。また、人事の膠着化を避け、幅広く後継者を育てる必要がある。

③ 適任者の条件としては、必要な時は平日でも対応できる職場環境にある方。パソコンを使いこなせる方。現在も剣道を続けている方。地域的には、新潟地区または、新潟地区の近隣にお住まいの方。

④ 今後の予定としては、11月末日までに適任者を理事長まで推薦。12月定例理事会で承認。事務局長は1月、3月まで重複勤務し、4月1日付で交代。事務局長は、役員改選の情勢を見ながら交代する。

6、報告事項

(1) 各専門委員会報告

(2) 任意弁済金振込状況及び対応について

7月19日最終入金を確認しました。総額530万8860円は特別会計の任意積立金として、新潟

信用金庫の 1 年定期にしました。将来の財団法人化（現行 300 万円）に向けて大切に使用していただきしたいと思います。尚、ご協力をお願いした総額は 523 万円です。（1 名の方からは入金がありませんでした。）関係各位のご理解とご協力にお礼を申し上げます。

(3) 剣道昇段審査会における、四・五段実技審査時への「切り返し導入」について

※ 5 月 19 日に開催された審査員会議で提案されました。

① 切り返しは基本技等の基礎をなす極めて重要なものである。しかし、高段者になるに従い、稽古前に省略する傾向があり、概して正しい「切り返し」を身につけていない。四段以上は、地区等の有力な指導者であることから、基本の重要性を再認識させるとともに会得させる。

② 短時間の実技審査の立ち会いだけでは、正しい打突姿勢、所作等が把握しにくい。依って、最初に「切り返し」を導入することにより、基本を忠実に身につけているか判明する。

③ 導入時期は、平成 25 年度の昇段審査会から実施する。

(4) 全日本剣道連盟の綱紀委員会付議について

※ 7 月 9 日付、全剣連通達。5 月 25 日付で当連盟から上申された、「多額使途不明金事件に伴う称号・

段位の剥奪申請及び経緯並びに今後の対応について（上申）」に対し、定款第 56 条第 2 項に基づき 7 月 3 日付にて、全剣連会長より綱紀委員会に諮問があり、それにより綱紀委員会は 7 月 24 日に開催し、上申書にかかる案件を付議します。尚、事案の性質上、橋本氏に弁明書の提出を求めるそうです。

7、その他

(1) 昇段審査事前申し込み制の導入について

① 負担増に伴う所属連盟への還付金について

※ 所属連盟への負担が現在より多くなることで、還付金を求める声があつたが、主管連盟の事務負担も大きく増加すること、還付割合の検討が難しいことから、当初案通り、切り替え時の導入は行わず、再度検討する。

② 振込手数料負担について

※ 主管連盟口座へ一括して振り込み、審査終了後に県剣連との清算を行うことから、
A、主管連盟への振込は、所属連盟が負担する。
B、県剣連への振り込みは、主管連盟が負担する。

③ 欠席者への取り扱いについて

※ 所属連盟から、主管連盟への連絡により、
A、事前連絡なし、は返金しない。
B、事前連絡あり（審査前日まで）

は、登録料のみ返金する。
C、事前連絡あり（審査一週間前）は、審査料・登録料とも返金する。
④ 今後、各支部事務局長会議を開催し、事務レベルの説明を行い、平成 25 年度より実施する方向で検討。

8、閉会宣言・篠京之事務局長
※ 次回定例理事会は、12 月 23 日（日）13 時～15 時 30 分新潟市ユニゾンプラザで開催予定。

☆ 11 月 2 日（金）全剣連 11 月臨時理事会で、新潟県剣道連盟から推薦された以下の個人・団体が受賞した。

【剣道有功賞】
望月 正夫 88
阿賀野市剣道連盟・名誉会長

【少年剣道教育奨励賞】
十日町剣友会（十日町市）
入広瀬剣道スポーツ少年団（魚沼市）

横越剣道スポーツ少年団（横越）
石山剣道教室（新潟市）
鳥屋野武道館少年部（新潟市）
真野少年剣士会（佐渡）

☆各種講習会の報告

10 月 6 日（土）

第 56 回全剣連社会体育指導員

(初級更新) 講習会

(大阪市・舞洲アリーナ)

初級更新 渡邊 清隆 51

伊藤 文博 56

10 月 20 日（土）21 日（日）
全剣連後援剣道指導者講習会
(新潟市黒埼総合体育館)

講師：豊村東盛・範士八段（東京）
田村 徹・教士八段（東京）

一日目は、審査員を対象に「審判法の講義及び審判実技（県警特錬生対新潟大学生による模擬試合）」や「日本剣道形」等の実技指導をいただき、意思統一を図ることができました。

二日目は、初段から八段までの受講生 109 名の参加を得て、「少年・初心者等における指導者の役割」の講話をはじめ、「木刀による剣道基本技稽古法」の防具着装を含めた実技指導は「指導稽古法」に直結して大変わかりやすく好評でした。

(報告) 審査・講習委員会
小杉 耐三

☆各種大会の報告

8 月 6 日（月）

第 43 回全国高等学校定時制通信制剣道大会（日本武道館）

男子団体戦予選リーグ
兵庫 B 3-2 新潟選抜

新潟選抜 3-0 群馬 馬
福 岡 4-1 新潟選抜

※ 3 位で予選敗退

女子団体戦予選リーグ
新潟選抜 0-0 東京 A

新潟選抜 3-0 岐阜 A
新潟選抜 3-0 広島 島

※ 1 位で予選通過

女子決勝トーナメント準決勝
 岩手 A 2-1 新潟選抜
 3位 新潟県
 監督 石井 輝彦(出雲崎高教)
 選手 諏佐 真純(出雲崎高)
 松野 瑞生(つくば開成)
 大矢 清歌(出雲崎高)
 唐崎 春香(明鏡高)
 女子個人戦準々決勝
 豊谷 美咲 M- 松野 瑞生
 (大阪・向陽台) (新潟・つくば開成)

8月6日(月) 59日(木)
 第59回全国高校剣道大会
 (新潟市東総合スポーツセンター)
 男子団体戦予選
 【Fブロック】
 新潟商業 2-0 鹿児島商
 新潟商業 4-0 甲府南(山梨)
 【Mブロック】
 学館新潟 1-0 奈良大附
 学館新潟 2-2 三重高
 男子決勝トーナメント
 1回戦
 新潟商業 3-1 和歌山工
 学館新潟 1-4 九州学院(熊本)
 2回戦
 新潟商業 1-3 育 英(兵庫)
 ※新潟商業はベスト8
 優秀選手
 齋藤 拓哉(新潟商業3年)
 坂爪 優太(新潟第一3年)
 【Gブロック】
 女子団体戦予選

新潟商業 1-0 白 河(福島)
 新潟商業 2-0 興 南(沖縄)
 【Nブロック】
 新潟第一 2-2 拓大紅陵(千葉)
 新潟第一 0-4 阿蘇中央(熊本)
 女子決勝トーナメント
 1回戦
 新潟商業 3-1 和歌山東
 2回戦
 新潟商業 0-0 島 原(長崎)
 準決勝
 新潟商業 0-3 守 谷(茨城)
 ※新潟商業は3位
 優秀選手
 武田 真弥(新潟商業3年)
 男子個人戦
 熊倉 茂喜(新潟明訓) 2年
 2回戦惜敗
 坂爪 優太(新潟第一) 3年
 ベスト8
 齋藤 拓哉(新潟商業) 3年
 2回戦惜敗
 新飯田悠太(新潟明訓) 2年
 2回戦惜敗
 女子個人戦
 佐藤 愛(新潟商業) 3年
 1回戦惜敗
 武田 真弥(新潟商業) 3年
 3位
 熊谷 真純(新潟商業) 2年
 4回戦惜敗
 丸山ゆき乃(新潟商業) 3年
 ベスト8

8月12日(日)
 第54回全国教職員剣道大会
 (山形市総合スポーツセンター)
 団体戦
 1回戦 兵庫県に0-3で惜敗
 個人戦
 高・大・教委の部
 池川 1回戦惜敗
 幼・義務教育の部
 三本 2回戦惜敗
 女子の部
 相場 1回戦惜敗

8月26日(日)
 第37回新潟県少年少女剣道大会
 (新潟市東総合スポーツセンター)
 小学生低学年女子の部
 優勝 新潟市剣道連盟A
 準優勝 新潟市剣道連盟B
 3位 新潟市剣道連盟C
 燕剣道連盟
 小学生低学年男子の部
 優勝 新潟市剣道連盟A
 準優勝 新潟市剣道連盟B
 3位 新潟市剣道連盟C
 新発田市剣道連盟A
 小学生高学年女子の部
 優勝 地蔵堂剣士会
 準優勝 新潟市剣道連盟C
 3位 上越市剣道連盟A
 白根剣道連盟
 小学生高学年男子の部
 優勝 新潟市剣道連盟A

準優勝 上越市剣道連盟A
 3位 上越市剣道連盟B
 三条剣道会
 中学生女子の部
 優勝 新潟市剣道連盟A
 準優勝 新潟市剣道連盟B
 3位 上越市剣道連盟A
 燕剣道連盟
 中学男子の部
 優勝 新潟市剣道連盟A
 準優勝 燕剣道連盟
 3位 新潟市剣道連盟C
 上越市剣道連盟A
 総合優勝 新潟市剣道連盟

8月26日(日)
 第33回北信越国体剣道競技
 (福井県立武道館)
 成年女子
 新潟1対2長野・新潟2対1石川
 新潟1対2福井・新潟3対0富山
 リーグ
 ①福井3勝1敗②長野3勝1敗
 ③新潟2勝2敗④石川2勝2敗
 ⑤富山4敗(1、2位と3、4位は勝者
 数などによる)
 少年男子
 新潟4対1福井・新潟2対3長野
 新潟3対2富山・新潟1対4石川
 リーグ
 ①福井2勝2敗②石川2勝2敗
 ③新潟2勝2敗④富山2勝2敗
 ⑤長野2勝2敗(勝者数などによる)

少年女子

新潟 4 対 1 石川・新潟 5 対 0 福井
新潟 3 対 2 長野・新潟 3 対 2 富山
リーグ

- ①新潟 4 勝 ②福井 3 勝 1 敗
- ③富山 2 勝 2 敗 ④石川 1 勝 3 敗
- ⑤長野 4 敗

※結果、少年女子は本国体出場

9月2日(日)

平成 24 年度新潟県剣道選手権大会兼
第 60 回全日本剣道選手権大会

新潟県予選会(葛塚中体育館)

- 優勝 木村 友哉(新潟市)
- 準優勝 渡辺 雅樹(県警)
- 3 位 磴 泰介(県警)
- 宮田 和寛(上越市)

※優勝者は、11月3日日本武道館で
開催の全日本に出場した。

※本県関係では、東京都予選 3 位の
佐藤範和選手(警視庁)も出場し
た。

☆新潟県剣道連盟のホームページが
リニューアルされました。

各種案内や大会・審査等の結果も
リアルタイムです。
全日本の木村選手の動画も観れま
す。

http://nigata-kenren.com/



9月2日(日)

第 41 回新潟県剣道高段者大会(葛塚中学校)

東軍Ⅱ (○印・優秀選手賞) 西軍Ⅱ

【六段の部】

- 先鋒 会田 年幸(新潟市)ド *メ 池田 直樹(三島)
- 次鋒 小林 剛(三島) *メメ○渡邊 直司(長岡)
- 49 将 中村 茂樹(新潟市) * 山田久仁彦(燕)
- 48 将 吉田 寿男(三島) * 上谷 貴洋(長岡)
- 47 将○西村 秀喜(新潟市)コ | 中村 淳(三島)
- 46 将 町田 一越(新潟市) |メ ○川嶋 芳行(県警)
- 45 将○中村 茂樹(新潟市)メ | 柳 幸一(十日町)
- 44 将 鈴木千代子(新潟市) |メコ○斉藤キミ子(新潟市)
- 43 将 大岩 裕志(長岡) |コ ○加藤 忠志(新潟市)
- 42 将 町田 一越(新潟市) * 天井 俊明(五泉)
- 41 将 斎藤 篤(新潟市)メ *コ 小林 正明(燕)
- 40 将 外山 亨(新潟市) |コメ○田沢 昇(白根)
- 39 将 川上登興次(県警) |ココ○上野 健一(新潟市)
- 38 将 五十嵐 忠(新潟市) * 帆苅 達郎(五泉)
- 37 将 高野 久雄(新潟市) |ドメ○小根山正意(長岡)

【七段の部】

- 36 将 桑原 秀典(津南)ド |メメ○三河 隆(三島)
- 35 将 佐藤 治彦(西蒲) |メコ○藤塚 衛(新潟市)
- 34 将 川口 英昭(新潟市) |メメ○宮田 和寛(上越)
- 33 将○荻莊 則幸(亀田)ドメ | 小林 匡(豊栄)
- 32 将 高橋 栄一(新潟市) |コ ○岡田 裕(柏崎)
- 31 将 渡辺 久雄(長岡) * 土屋 敬彦(村上)
- 30 将 鈴木 和彦(新発田) |コ ○直原 幹(上越)
- 29 将○梅津 孝昭(県警)メ | 樋口 秀夫(十日町)
- 28 将 佐藤 治彦(西蒲) * 大濱 克(上越)
- 27 将 佐藤 好美(県警) * 伊藤 文博(糸魚川)
- 26 将○佐藤 定美(長岡)ド | 山口 雄三(新潟市)
- 25 将○渡邊 希一(柏崎)コ |メ 関原 武彦(糸魚川)
- 24 将 八木 和憲(新潟市) * 長谷川 敏(新発田)
- 23 将 清水 龍(学校) * 廣川 和男(新潟市)
- 22 将 山田 茂(新潟市) |メメ○加藤 治(学校)

- 21 将○草間 淳壹(三条)メ | 大橋 正男(長岡)
- 20 将○品田 峯雄(柏崎)ドメ | 永井 和憲(新潟市)
- 19 将 和田 正巳(三島) * 堀 伊佐緒(新潟市)
- 18 将○久我 正作(県警)コ | 大竹 和夫(長岡)
- 17 将 斉藤 博司(新発田)ド *コ 藤井 紳一(五泉)
- 16 将 高山 武(新潟市) * 松田富士夫(長岡)
- 15 将 清水 義威(三島)棄権 |メ ○北野 洋一(新潟市)
- 14 将 久保田幸正(上越) * 江村 兵平(豊栄)
- 13 将 佐藤 登(豊栄) * 澤見 幸夫(佐渡)
- 12 将 齋藤 朝男(県警) * 小川 清広(上越)
- 11 将○鈴木 喜一(阿賀野)ド | 前山 憲三(新潟市)
- 10 将 望月 憲一(県警) * 田川 正幸(十日町)
- 9 将 小杉 耐三(新潟市) |メ ○木原 眸(上越)
- 8 将 松林 正敏(新潟市) * 西村 芳雄(燕)
- 7 将 青山 勲(上越)メ *コ 小泉 一義(県警)
- 6 将 上谷 洋二(長岡) * 金田 文蔵(新潟市)
- 5 将 小柳 政栄(新潟市) |メ ○西瀧 敏夫(南魚沼)
- 4 将 高橋 守(上越) * 佐藤 英雄(豊栄)
- 3 将 龜倉 義弘(長岡) |メメ○藤田 惣松(亀田)
- 副将 西瀧 敏夫(南魚沼) * 玉井 久進(豊栄)
- 大将○星名 四郎(十日町)メメ | 皆川 昶(新潟市)

【八段の部】 拜見

- 白井 吉満(長岡) | 山田 義雄(燕)

優勝 西軍 17 勝(取得本数 33 本)
準優勝 東軍 11 勝(取得本数 20 本)

優秀選手賞 8 名(選考委員 白井吉満・山田義雄)

- 渡邊 直司(長岡) 中村 茂樹(新潟市)
- 三河 隆(三島) 宮田 和寛(上越)
- 加藤 治(学校) 品田 峯雄(柏崎)
- 鈴木 喜一(阿賀野) 藤田 惣松(亀田)

優秀試合賞 1 組(選考委員 白井吉満・山田義雄)
27 将 佐藤 好美(県警) 対 伊藤 文博(糸魚川)

8月11日(土) 12日(日)
第44回全日本歯科学生総合体育大会
剣道部門

(江戸川スポーツセンター)

男子団体の部

3位 日本歯科大学

女子個人の部

3位 今井 琴子(日本歯科大)

第25回全日本歯科医師剣道優勝大会

(同日同所)

2位 日本歯科大学新潟OB会

8月18日(土) 20日(月)
第42回全国中学校剣道大会

(埼玉県・越谷市立総合体育館)

男子団体・小池中学校

予選リーグ

小池2(本) 1-2遊佐中(山形)

小池3-2浜松中部中(静岡)

決勝トーナメント

1回戦・小池1-2

幕張本郷中(千葉)

※小池中はベスト16

男子個人戦

2位 熊倉 信広(小池中)

【監督観戦記】

埼玉県越谷市総合体育館で開催された、全国中学校剣道大会に、男子団体の小池中、男子個人に熊倉選手(小池中)、皆川選手(新潟松浜中)が出場しました。

男子団体では、予選リーグから東海ブロック1位の遊佐中と対戦。厳しい試合となりましたが、逆転の連続で予選

1位突破。

決勝トーナメント1回戦では、幕張本郷中となり、何度も竹刀を交えた同士で接戦が予想されました。先鋒、次鋒を落とし先行されますが、中堅以降反撃、大将に逆転を託しますが、惜しくも引き分けとなり、2年連続ベスト16進出という結果で終わりました。

男子個人戦では、熊倉選手が1回戦から勝負強い試合を展開し、ベスト8に進出。最終日では準々決勝からは思い切った面の連取で一気に決勝まで勝ち上がりました。決勝は茨城代表の高木選手(梅香中)との初対戦。お互い手の内を探る試合展開の中から、熊倉選手が相手に攻め勝ち崩し始めます。有利に試合を運んでいた中盤、相手の捨て身のかつぎ面と、熊倉選手の抜き胴の勝負となりましたが、一瞬の遅れで相手の面に軍配が上がりました。

結果、優勝を逃すも新潟県勢として7年振りの個人準優勝を果たすことができました。この結果を残せましたのも、大勢の方に支えられてのことと心から感謝申し上げます。

(報告:堀田秀浩)

女子団体・燕中学校

予選リーグ

燕4-0塩竈一中(宮城)

燕0-0那賀川中(徳島)

決勝トーナメント

1回戦・燕3-1

東京学館浦安中(千葉)

2回戦・燕3-0住吉中(大阪)

順決・燕3-0高山中(鹿児島)

決勝・燕4-1大沼中(埼玉)

※3年連続5回目の優勝。

女子個人戦

B8 村山ひなこ(燕中)

※全国大会の詳細記事は、剣道時代・剣道日本にも掲載されています。併せてご覧ください。

【監督観戦記】

連日猛暑が続く越谷市で、熱中症の心配もありましたが、燕中学校女子剣道部は、3年連続5度目の優勝を達成することができました。

大会では、予選リーグから苦戦が続きました。初戦は被災地でもある宮城県代表の塩竈一中と対戦し、4対0と圧勝しましたが、続く第2戦が、過去に3度の全国優勝を果たしている徳島県代表の那賀川中と対戦し、お互いに一歩も譲らず0対0の引き分けとなりました。激戦の予選リーグを終えた結果、勝者数が那賀川中を上回り、かうじて予選リーグを突破することができました。

翌日、決勝トーナメントの1回戦では、千葉県代表の東京学館浦安中と対戦し、3対1と競り勝ち、最終日の準々決勝へと駒を進めることができました。

大会最終日、準々決勝の相手は、近畿ブロック優勝校の大阪府代表住吉中でした。過去に何度か大会で対戦して勝利していましたが、いずれも僅差での勝利であり、この一戦が今大会の流れを左右する一戦と、選手たちは心

をひとつに試合に臨みました。

先鋒、次鋒と僅差ながら先取し、中堅を引き分けたものの、副将の2本勝ちで勝負を決め、結果的に3対0の圧勝で準決勝に進むことができました。

準決勝の相手は、九州ブロックの優勝校である、鹿児島県代表高山中との対戦となりました。準々決勝でのチームの勢いは止まらずに、またも先鋒と次鋒が先取し、中堅が引き分けましたが、準々決勝と同じ展開となり、副将戦で勝敗が決まりました。

いよいよ決勝戦、地元埼玉県代表の大沼中が反対の山を勝ち抜いており、もの凄い地元埼玉の応援を背に、5度目の「日本一」をかけて、緊迫した試合が始まりました。

しかし、私の心配とは裏腹に、地元の大応援にも負けない、燕中の選手達の3連覇にける気迫と執念が勝り、気がついてみると4対1の大差で「日本一」を達成することができました。控室に戻り、監督・コーチ・選手が手を取り合いながら流した感動の涙は、今でも忘れることはできません。

最後になりましたが、各道場で幼少時より育てていただいた指導者の先生方、ご理解くださり様々な場面でご支援・ご協力くださった地域・保護者の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。この場をお借りしまして皆様に、心より御礼を申し上げます。

(報告:堀田正秀)

※新潟県は、全中3連覇の偉業をたたえ、9月25日県庁で知事表彰を授与した。燕中の優勝は、3年連続5回目。来年度は、熊本県の阿蘇中が1999年から達成した4連覇に挑むことになる。

※第36回新潟日報スポーツ賞

特別賞

9月2日(日)

全剣道設立60周年記念

第51回全日本女子剣道選手権大会

(兵庫県立武道館)

☆宮路奈津子(県体協) 四段・初

1回戦 一メ 宮本(福岡)

☆高橋 愛子(日体大) 三段・2

1回戦 メー 島村(東京)

2回戦 一メ 平山(茨城)

平山選手とは11分35秒の惜敗。平山

選手はベスト8で優秀選手賞。

※本県関係では、高橋愛子選手の妹

で、茨城代表で出場した高橋萌子選

手(三段・法政大1年・燕中出)は、

昨年同様、準々決勝で惜敗。ベスト8

で優秀選手賞。

※前年度覇者の、村山千夏選手(鎌

士六段・埼玉県警・新潟松浜中出)は

2回戦惜敗。

9月16日(日)

第54回全国郵政剣道大会

(熊本市総合体育館)

個人・OBの部(大坂栄一杯)

2位 高橋 守(上越)

9月16日(日)

第7回全日本都道府県対抗少年

剣道優勝大会

(大阪府舞洲アリーナ)

中学生の部

監督 堀田 秀浩(小池中)

コーチ 西條 芳雄(東北中)

選手

先鋒 川嶋香奈子(燕中)

次鋒 村山ひなこ(燕中)

中堅 松本 諒(第一中)

副将 皆川 辰也(松浜中)

大将 熊倉 信広(小池中)

※先鋒・次鋒は女子、中堅・副将・大

将は男子で、女子は県大会の個人戦

1位2位、男子は同1位〜3位の選

手で構成。

予選リーグ

新潟 3-1 香川

新潟 3-2 北海道

※新潟は1位で予選通過

決勝トーナメント1回戦

新潟 1-2 福岡

【監督観戦記】

今年度は、全国中学校剣道大会女子

団体3連覇の燕中から、村山と川嶋両

選手。同大会男子個人準優勝の小池中・

熊倉選手を擁して上位進出を狙ったの

参加となりました。

各都道府県を代表する選手で構成さ

れたチームがほとんどなので、各試合

が接戦となり、試合運びが大きなポイ

ントになります。新潟県は非常に厳し

い対戦が続く組合せで、激戦ブロック

に入りました。予選リーグでは、北海

道と香川を接戦の末退け、決勝トーナ

メントに臨みました。

第1試合で強豪福岡と対戦。上位進

出の最初の関門となります。先鋒・次

鋒は相互に激しい攻め合いを展開しま

したが、双方機会を作れず引き分け。

中堅戦以降は1対1で本数リードさ

れ、迎えた大将戦は激しい打ち合いと

なり、審判員が困惑する場面もありま

したが、惜しくも敗れました。新潟県

の中学生は充分に上位入賞を狙える力

があっただけに、残念な結果となりま

した。

今後の課題として、チーム結成後は、

数回の試合練習を重ね、準備を整えて

参加する方向を検討していく事が必要

になります。

県剣道連盟を始め、大勢の方々のご

支援に心から感謝申し上げます。

(報告・堀田秀浩)

小学生の部

監督 佐藤 弘則(栃尾)

選手

先鋒 皆川 直樹(新潟誠雄館)

次鋒 須田 友紀(白根剣士会道場)

中堅 田中 力矢(吉川剣道教室)

副将 相場 葵(地藏堂剣士会)

大将 樋浦 雄也(新津剣道連盟)

予選リーグ

新潟 1-4 大阪A

新潟 1-0 埼玉

結果 新潟は2位で予選敗退

【監督観戦記】

7回目となる本大会に、新潟県とし

て初めての参加となり、県内各地区で

の予選を突破し、最終予選に於いて、

5名の優秀な選手が決定しました。

初陣の相手は、大阪と埼玉のチーム

で、3チームのリーグ戦となった。

初戦の大阪Aとの試合では、先鋒の

皆川選手が、目の覚めるような小手で

先勝し、次鋒以下に期待したが、力及

ばず敗れた。

2戦目は、埼玉との対戦であったが、

先鋒から副将まで行き詰まる攻防戦、

お互いに一步も譲らず4引き分けとな

る。ここで大将の樋浦選手が意地の小

手を見事に決めて1本勝ち。リーグ2

位でした。

今回まで6回の大会で、4回の優勝

を誇る地元大阪との対戦、そして強豪

埼玉との試合で1勝1敗。初めての大会

出場であったが、各選手の頑張りには

大変感心させられました。

そして、道場連盟の先生方、ご協力

有難うございました。強化練習等に会

場を手配していただいた、三条剣道会

の皆様方にも感謝申し上げます。

(報告・佐藤弘則)

9月22日(祝) 第60回新潟県剣道大会

(亀田アスパーク)

団体戦

36歳一日以上の部

優勝 上越市剣道連盟

準優勝 三島剣道連盟

3位 新潟市剣道連盟

栃尾剣道連盟

36歳以下の部

優勝 新潟県警察剣道連盟

準優勝 新潟市剣道連盟

3位 白根剣道連盟

上越市剣道連盟

高校男子の部

優勝 新潟市剣道連盟

準優勝 三条剣道会

3位 浦川原剣道連盟

横越剣道連盟

高校女子の部

優勝 新潟市剣道連盟

準優勝 上越市剣道連盟

3位 中条剣道連盟

村上剣道連盟

一般女子の部

優勝 新潟市剣道連盟

準優勝 上越市剣道連盟

3位 中之島剣道会

栃尾剣道連盟

個人戦

60歳以上の部

優勝 川崎 藤雄(村上市)

準優勝 帆苅 達郎(五泉市)

3位 北野 洋一(新潟市)

今井英一郎(上越市)

50歳代の部

優勝 樋口 秀夫(十日町)

準優勝 村井 豊(小須戸)

3位 平井 修二(妙高)

高橋 栄一(新潟市)

40歳代の部

優勝 風間 裕輔(小須戸)

準優勝 高嶋 純一(上越市)

3位 藤塚 衛(新潟市)

町田 一越(新潟市)

30歳代の部

優勝 根本竜太郎(五泉市)

準優勝 片野 洋(白根)

3位 佐藤 成亮(栃尾)

伊藤 憲司(新潟市)

20歳代の部

優勝 木村健太郎(長岡)

準優勝 白川 駿介(県警)

3位 土田 雅成(新津)

市村 学(上越市)

10歳代の部

優勝 清水佑公史(新潟市)

準優勝 木戸間界鷲(糸魚川)

3位 前田 健太(新潟市)

樋浦 健(新津)

高校女子の部

優勝 山北 美樹(中之島)

準優勝 真島久美子(中之島)

3位 伊藤さゆり(糸魚川)

並木美友貴(三条)

一般女子の部

優勝 清水 里奈(県警)

準優勝 石井かおる(新潟市)

3位 西條 法(上越市)

竹内 彩音(上越市)

総合優勝

新潟市剣道連盟

10月1日(月)

第67回国民体育大会剣道競技

(岐阜県関市体育館)

【成年男子】

監督 佐藤 弘則(栃尾)

先鋒 木村 友哉(新潟市)

次鋒 赤塚 洋紀(県警)

中堅 磴 泰介(県警)

副将 吉田 仁(新潟市)

大将 佐藤 弘則(栃尾)

1回戦 新潟 2-3 宮崎

木村④ メー⑧メ⑩松崎③

○赤塚⑤ ①ー 山下⑥

○磴⑥ ①ー 今東⑦

吉田⑦ ②ーメ④○重黒木⑦

佐藤⑦ ーメ④○大重⑦

【監督観戦記】

大会二日目、前日の少年女子3位入賞に続けと決意も新たに初戦に臨む。

先鋒木村、機を捉え小手に行くも抜き気味に面をとられる。その後、慌てることなく終盤に面を取り返し延長に入る。優勢に試合を展開し、面に行くも伸びきった所を裏から払らわれ面をとられる。

次鋒戦、両者決め手なく延長に入り9分過ぎ、赤塚が凌いで抜き胴を決める。

中堅磴、積極的に小手から面と攻めたてるも有効打なく延長に入る。延長開始間際、鏝迫り合いから意表を衝く引き胴を見事に決め、リードする。

副将吉田、触刃の間合いから気攻めで打ち急ぐことなく機会を捉え初太

刀、面を決める。相手は、ここを落とすことができず厳しい気攻めからの技を繰り出す。これをよく凌いだ、終盤手元が浮いたところ小手、引いたところを面に乗られ勝ちをものにすることができなかった。

勝負のかかった大将戦、両者一步も引くことなく厳しい技の応酬を繰り広げた。佐藤 狙い澄まして出小手を狙ったが、大重に一瞬早く面に乗られる。その後、気攻めで相手を追い詰め面に乗るも一本にならず、最後、引いたところを面にとられ勝利することができなかった。試合内容は僅差であっただけに惜しまれる試合であった。

今後の課題として、いかに副将(45歳以上)・大将(55歳以上)の選手層を増やし、継続した稽古量確保するかが挙げられる。社会的にも家庭的にも大変な年代であるが、それぞれの環境の中で、工夫をしながら剣道と向き合ってもらいたいと願うばかりである。

(報告：総監督 加藤 治)

10月23日(火)

第59回全国警察剣道大会

(日本武道館)

第2部

第1次リーグ

新潟1-2福岡

新潟0-4和歌山

※2次リーグを経て、福岡が優勝。

11月3日(祝) 第60回全日本剣道選手権大会

(日本武道館)

☆木村 友哉(新潟市) 四段・初出場

1 回戦メド― 藤田(滋賀) 四段

2 回戦メド― 林田(福岡) 五段

3 回戦 ―メ網代(兵庫) 六段

※初出場ながら3回戦まで進出し、ベスト16でした。網代選手は3位入賞。

また、本県出身の警視庁・佐藤範和選手は、2回戦で惜敗した。共に、今後益々の活躍に期待します。

11月17日(土) 18日(日)

第34回BSN高等学校剣道大会

兼・全国高校選抜剣道大会一次予選会

(新潟市鳥屋野総合体育館)

男子団体

優勝 新潟商業高校(4連覇)

準優勝 東京学館新潟高校

3 位 新潟明訓高校

新潟第一高校

ベスト8 新潟高・高田高

高田北城高・帝京長岡高

女子団体

優勝 新潟商業高校(4連覇)

準優勝 新潟青陵高校

3 位 新潟中央高

分水高校

ベスト8 高田北城高・新発田高

高田高・東京学館新潟高

※上位8校は、来年3月の全国高校選抜大会出場権を懸けて、1月13日(日)に亀田総合体育館で二次予選会を開催。

男子個人

優勝 江口 脩哉(新潟商業)

準優勝 新保 文哉(東京学館)

3 位 石田 大樹(東京学館)

皆川 諄哉(新潟第一)

女子個人

優勝 大塩 綾子(新潟商業)

準優勝 熊谷 真純(新潟商業)

3 位 白井 瑞希(新潟商業)

深口 佳奈(新潟商業)

※男子個人優勝者は、次年度の全日本都道府県対抗優勝試合の先鋒に確定。同女子の先鋒は、次年度の高校総体個人優勝者となる。

11月23日(祝)

第52回新潟県実業団剣道大会

(里塚地区総合体育館)

団体戦一部

優勝 JR東日本新潟支社A

準優勝 新潟総合警備保障(A)

3 位 セコム上信越(株)

(株)大光銀行

団体戦二部

優勝 (株)謙信堂武道具

準優勝 (株)第四銀行

3 位 パナソニック(株)

(有)かんだストアー

団体戦三部

優勝 直心館金田道場

準優勝 万代長嶺教室

3 位 友和会

ロシアウラジオストク剣道クラブ
S O L K I

女子団体戦

優勝 パナソニック(株)

準優勝 新潟総合警備保障(株)

3 位 友和会

J R東日本新潟支社

個人戦10・20代

優勝 睦 隼人(新潟総合警備保障)

準優勝 梅木 健次(J R東日本)

3 位 中野 巧太(新潟総合警備保障)

八子 圭介

個人戦30代

優勝 伊藤 憲司(北越紀州製紙)

準優勝 片野 洋(J R東日本)

3 位 神田 和則(かんだストアー)

小野 栄

個人戦40代

優勝 有馬 俊之(大光銀行)

準優勝 町田 一越

3 位 若狭 正行(武道工房正行)

村田 和昭(大光銀行)

個人戦50代以上

優勝 高橋 栄一

(高橋整形外科医院)

準優勝 佐藤 治彦(河治屋)

3 位 阿部 宏明(大光銀行)

小柴 智(原信)

女子個人戦

優勝 玉虫ひとみ(新潟総合警備保障)

準優勝 村山まみこ(パナソニック)

3 位 斉藤 幸奈(J R東日本)

久住 祥穂(パナソニック)

11月25日(日)

第21回新潟県中学校選抜剣道大会

(新潟市東総合スポーツセンター)

男子団体戦

優勝 小池中学校

準優勝 小針中学校

3 位 坂井輪中学校

五十嵐中学校

女子団体戦

優勝 燕中学校

準優勝 吉田中学校

3 位 鳥屋野中学校

小針中学校

☆県合同稽古会の報告

11月18日(日) 9時~11時

(三条市厚生福祉会館)

指導陣：佐藤 伸(新潟市)

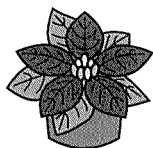
渡邊 幹雄(県警)

白井 吉満(長岡)

参加者：63名

県下各地から剣道愛好家が多数参加し、回り稽古や元立ち稽古で、充実した汗を流しました。

尚、冬季の合同稽古は無しになりましたので、次回の合同稽古は、平成25年度になります。



☆称号・段位審査会報告

8月5日(日) 阿賀野市

初段 42名受審 合格40名
二段 32名受審 合格32名
三段 3名受審 合格2名
四段 9名受審 合格4名
※審査長 渡邊 幹雄
審査員 鈴木 喜一・齊藤 博司
齊藤 朝男・清水 龍
山田 茂

8月5日(日) 小千谷市

初段 57名受審 合格57名
二段 43名受審 合格43名
三段 15名受審 合格11名
四段 7名受審 合格3名
※審査長 白井 吉満
高橋 守・木原 眸
大濱 克・直原 幹
宮下 茂

8月12日(日) 上越市

初段 99名受審 合格93名
二段 99名受審 合格92名
三段 29名受審 合格13名
四段 4名受審 合格1名
五段 5名受審 合格2名
五段合格者氏名

渡辺 友彰26(上越)
田口 史人40(糸魚川)
※審査長 山田 義雄
審査員 高橋 守・上谷 洋二
木原 眸・江村 兵平
清水 龍・山田 茂
大濱 克・宮下 茂
高橋 直志

8月18日(土) 長野県

七段合格 桑原 秀典(津南)
三河 隆(三島)
池田 泰宏(上越)
志田 儀和(学校)
羽下 文朗(新潟市)
土田 勉(新潟市)
伊達 優(上越)
齋藤 榮(新発田)

8月19日(日) 長野県

六段合格 相場しのぶ(燕)
渡辺 雅樹(県警)
永嶋 晃(県警)
葦澤 健太(栃尾)
大桃 勝頼(魚沼)
荒木 隆行(新発田)
小幡 武夫(長岡)
齋藤 欣也(三島)
立川 晨生(燕)

8月19日(日) 長岡市寺泊

初段 39名受審 合格37名
二段 30名受審 合格30名
三段 17名受審 合格9名
四段 7名受審 合格1名
※審査長 山田 義雄
高橋 守・木原 眸
佐藤 好美・大濱 克
高橋 直志

8月21日(火) 新潟市

初段 188名受審 合格181名
二段 163名受審 合格152名
三段 6名受審 合格4名
四段 2名受審 合格0名

※審査長 白井 吉満

審査員 近藤 憲英・上谷 洋二
齋藤 博司・久保田幸正
齋藤 朝男・江村 兵平
堀 伊佐緒・清水 龍
大濱 克

9月9日(日) 県警

初段 70名受審 合格70名
二段 6名受審 合格6名
三段 9名受審 合格3名
※審査長 白井 吉満
上谷 洋二・齋藤 朝男
堀 伊佐緒・清水 龍
今西 博一

10月13日(土) 特別審査

※中止

11月4日(日) 佐渡市

初段 11名受審 合格10名
二段 10名受審 合格10名
三段 1名受審 合格1名
※審査長 渡邊 幹雄
齋藤 朝男・藤井 紳一
江村 兵平・山田 茂
佐藤 好美

11月4日(日) 三条市

初段 49名受審 合格47名
二段 24名受審 合格23名
三段 10名受審 合格6名
四段 7名受審 合格3名
五段 15名受審 合格6名
五段合格者氏名
山田 智成24(柏崎)

渋谷 秀人24(長岡)

小林真悠子33(上越市)
五十嵐友起子37(栃尾)
小柳 貴裕40(長岡)
中山 浩51(横越)
※審査長 上谷 洋二
近藤 憲英・齋藤 博司
前山 憲三・清水 龍
高橋 直志

11月11日(日) 新潟市

初段 26名受審 合格26名
二段 13名受審 合格13名
三段 13名受審 合格8名
四段 13名受審 合格8名
※審査長 山田 義雄
鈴木 喜一・齋藤 博司
藤井 紳一・佐藤 好美
今西 博一

11月17日(土) 愛知県

七段合格 風間 裕輔40(小須戸)
11月26日(月) 東京都
六段合格 廣瀬 欽一32(県警)
原澤 裕42(南魚沼)
渋谷 豊彦54(五泉市)

11月26日(月) 東京都

教士号合格 樋口 秀夫51(十日町)
加藤 秀隆54(新潟市)
浜田 尚57(新潟市)
山口 雄三61(新潟市)
八木 和徳61(新潟市)
松田富士夫63(長岡)
濁川 義行67(新潟市)

小柳 政栄 71 (新潟市)
 平野 孝國 82 (新潟市)
 玉虫 一憲 35 (学校)
 相場 将悟 35 (地藏堂)
 小野 栄 38 (新潟市)
 鈴木 和人 38 (長岡)
 水野 竜弥 41 (阿賀野)
 西村 秀喜 45 (新潟市)
 土居 義典 45 (上越市)
 菊崎 祐爾 46 (糸魚川)
 皆川 健 51 (十日町)
 飯浜 勝昭 56 (栃尾)
 帆船 達郎 64 (五泉市)

11月27日(火)・東京都

七段合格 藤塚 直 39 (学校)
 村井 豊 50 (小須戸)
 浅原 行雄 60 (白根)
 加藤清一郎 64 (佐渡市)
 児玉 健 66 (佐渡市)

【居合道部会】

☆講習会記録
9月17日(祝)

新潟市・木山小学校体育館
 中央講習会の伝達講習会
 審判講習会・認定審査会 名参加
 審判認定審査会
 A級12名・B級13名・C級6名
 以上が合格・更新した。

11月18日(日)
 上越市カルチャーセンター
 62名参加

☆強化練習会
 8月25日(土) 26日(日)
 三条市
 9月15日(土) 16日(日)
 柏崎市武道館

☆大会記録

10月7日(日)
 第50回高知居合道大会
 第50回記念全国居合道七段選手権
 (高知県南国市立スポーツセンター)
 3位 品田賢一郎(柏崎)

10月14日(日)
 第51回新潟県居合道大会
 (新潟市・亀田西中学校体育館)

【段別個人優勝試合】

○初段・段外の部

優勝 刈屋 幸長(豊栄)
 準優勝 安藤 正広(新潟)
 3位 岩野 昭治(黒埼)
 関山 武尊(三条)
 山口 圭介(新潟)
 梅田 謙(三条)
 松井 晋(魚沼)
 北場 勝広(新潟)
 ○二段の部
 優勝 佐藤 壽世(光明館)
 準優勝 佐藤 衛(光明館)
 3位 田口 玲子(上越)
 佐藤 徳昭(新潟)
 馮善 揚(新潟)
 小林 弘幸(南魚沼)
 高井 龍一(南魚沼)
 一条 達巳(新津)

○三段の部

優勝 伊藤 崇人(光明館)
 準優勝 刈屋 学(豊栄)
 3位 岡村 雅弘(新潟)
 三井田富士夫(柏崎)
 丸山裕美子(十日町)
 田沢 健二(魚沼)
 皆川 沙代(十日町)
 田中 伸也(魚沼)
 ○四段の部(草間昭盛杯)
 優勝 田川 翔大(柏崎)
 準優勝 高野 舞(柏崎)
 3位 徳永美奈子(上越)
 杉下 英倫(光明館)
 渡辺 康博(新潟)
 畑山 毅(新津)
 田辺 康彦(新潟)
 小俣 好広(新潟)

○五段の部(居合道部会長賞)

優勝 大西 伸和(柏崎)
 準優勝 川口 聡(柏崎)
 3位 大西 恵(柏崎)
 古田 規子(豊栄)
 丸山 末栄(豊栄)
 大津 美子(新潟)
 平野翔太郎(柏崎)
 本間 豊美(豊栄)
 ○六段の部(県剣道連盟会長賞)
 優勝 今井 恒之(上越)
 準優勝 直原 幹(上越)
 3位 番場 美鈴(加茂)
 竹川ゆり子(加茂)
 澤田 光利(新津)
 萱森 一夫(加茂)
 岡田 裕(柏崎)
 佐藤 弘(村上)

【個人演武の部】

○初段・段外の部

奨励賞 関山 武尊(三条)
 佐藤 正彬(光明館)
 小宮山歩夢(十日町)
 小山 昭彦(豊栄)
 特別奨励賞 國井 敏夫(豊栄)
 竹内 勇雄(新潟)
 豊崎 輝行(黒埼)
 岩野 昭治(黒埼)

○二段の部

奨励賞 中嶋 格(南魚沼)
 平澤 幸二(豊栄)
 近藤 豊子(加茂)

○三段の部

奨励賞 磯貝 文彦(新潟)
 西須三三郎(柏崎)
 特別奨励賞 横田 紘光(洗心館)

○四段の部

奨励賞 柳本 利夫(黒埼)

○五段の部

奨励賞 小野 義弘(新発田)
 荒井 寛(新潟)
 栗原 啓幸(豊栄)
 長谷川隆二(南魚沼)
 永久保和孝(光明館)

○六段の部

奨励賞 佐藤 忠夫(新津)
 石田 正廣(新発田)
 チーム対抗団体戦
 (3人の合計段位が8段以内の者)

優勝 光明館「チーム秋霜」
 伊藤 崇人・佐藤 壽世(光明館)

田口 玲子(上越)

準優勝 豊栄「無心刀」
刈屋 学・刈屋 幸長（豊栄）
杉下 英倫（光明館）
3 位 選抜「蜻蛉参上！」
徳永美奈子（上越）

【平成24年度表彰】

○功労賞

大島 要三・五段（南魚沼）
※支部長4期8年の功労

○年間皆勤賞（14名）

新発田 石田 正廣 六段
小野 義弘 五段
豊栄 古田 規子 五段
新潟 大津 美子 五段
加茂 番場 美鈴 錬士六段
竹川ゆり子 錬士六段
近藤 豊子 二段
光明館 小林 稔 五段
佐藤 衛 二段
佐藤 壽世 二段
南魚沼 長谷川隆二 五段
柏崎 三井田富士夫 三段
上越 徳永美奈子 四段
田口 玲子 二段

10月20日（土）

第47回全日本居合道大会（静岡市）

監督 大津憲養 教士八段（新潟）

五段の部 大西 伸和（柏崎）

優勝

六段の部 今井 恒之（上越）

準決勝惜敗（ベスト4）

七段の部 品田賢一郎（柏崎）

1 回戦惜敗

都道府県対抗試合（団体） 3 位

11月11日（日）
第18回凌雲館居合道演武富山大会（富山市）

個人試合

初段の部

敢闘賞 刈屋 幸長（豊栄）

二段の部

3 位 佐藤 壽世（光明館）

敢闘賞 佐藤 衛（光明館）

田口 玲子（上越）

三段の部

準優勝 刈屋 学（豊栄）

四段の部

準優勝 杉下 英倫（光明館）

3 位 田川 翔大（柏崎）

敢闘賞 徳永美奈子（上越）

五段の部

3 位 川口 聡（柏崎）

大西 恵（柏崎）

敢闘賞 小野 義弘（新発田）

六段の部

準優勝 今井 恒之（上越）

個人演武

七段の部

優良賞 品田賢一郎（柏崎）

11月23日（祝・金）

第17回関東甲信越居合道大会（東京武道館）

チーム対抗優勝試合 2 位

新潟県チーム

三段以下の部

佐藤 衛（光明館） 3 位

四・五段の部

川口 聡（柏崎） 優勝

六・七段の部

渡辺 尚久（柏崎） 2 回戦惜敗

段別演武

五段の部

敢闘賞 古田 規子（豊栄）

大西 恵（柏崎）

大津 美子（新潟）

12月2日（日）

第54回大阪居合道大会（大阪市）

二段の部

敢闘賞 佐藤 衛（光明館）

六段の部

優勝 今井 恒之（上越）

七段の部

優秀演武賞 品田賢一郎（柏崎）

☆昇段審査記録

11月17日（土）

江戸川スポーツセンター

七段合格 佐藤 弘（村上）

11月18日（日）上越市カルチャー

初段 1 名受審 合格 1 名

二段 9 名受審 合格 9 名

三段 4 名受審 合格 4 名

四段 3 名受審 合格 3 名

五段 2 名受審 合格 2 名

五段合格者氏名

高野 舞 24（柏崎）

青山 澄夫 83（光明館）

※審査員 品田 峯雄

審査員 吉田 哲夫・大竹 春男

田川 正幸・上島 好文

渡辺 尚久・品田賢一郎

11月26日・東京都

教士号合格 藤田 惣松 81（新潟市）

錬士号合格 五十嵐前衛 62（新発田）

石田 正廣 63（新発田）



☆昇段審査記録

10月27日（土）

昇段審査会（東京武道館）

四段合格 諏訪 慶（長岡）

小杉 耐三（志学館）

☆合同合宿・納会記録

11月10日（土） 11日（日）

第1回県合同合宿・納会

（魚沼市・須原第二体育館）

折しも紅葉がとても美しい静かな環境の中、県杖道部会の歴史に残る、第1回合同合宿と納会が開催され、村上・新潟・長岡の3支部から、総勢17名が参加し、上村貴宏・原茂敏両五段の講師からご指導をいただき、心地よい緊張感と共に稽古に励むことができました。

1日目は基本12本の稽古、相對稽古を、2日目は相對稽古の続きと制定形の稽古を、それぞれの進捗度によってグループに分かれて行いました。

基本12本は、改めてそれぞれの動作を確認することができ、相對稽古は杖・太刀双方の基本的な運用法と理合を習得できる練習法でした。また、この稽古法は、基本12本と制定形を結び付け、ちょうど形を分解して練習できるような中間的な位置にある稽古方法なのだろうとも思われました。

今回の稽古では、基本技の上に形が成り立っている事を理解できるような稽古の大切さを再認識することができました。また、無くて七癖というように、普段とは違う環境の中で、普段は気がつかない悪癖を指摘しただけでも良い機会だったと思います。

また、1日目の夜は懇親会が行われ、めったにない機会ということもあり、多くの方々と親睦を深め、お話を伺うことで杖道との向き合い方の色々なヒントをいただくことができ、今後の稽古の励みにもなりました。

最後に、今回合宿を行うにあたり、事前の準備、運営をしていただいた諸先生方のご尽力に感謝申し上げます、ご報告といたします。

(報告・長岡支部 諏訪 慶)

※村上支部・新潟支部・長岡支部の各3地区で、それぞれ稽古を精力的に実施し、また支部相互の稽古にも参加して、杖道を新潟に根付かせる思いを胸に稽古を続けています。よろしくお願ひします。

今後の予定

平成25年

1月13日(日)

全国高校選抜大会(二次予選会)

(亀田アスパーク)

2月10日(日)

第41回建国記念剣道大会

(新潟市東総合スポーツセンター)

2月24日(日)
第13回日本剣道形柏崎大会
(柏崎市武道館)

※県内唯一の形の大会です。
小学生〜一般まで。

2月24日(日)

剣道昇段審査会(初段〜四段)

(新潟B&G海洋センター)

3月2日(土)

剣道六・七・八段受審者講習会

(新潟市)

3月3日(日)

全日本都道府県対抗剣道大会

県予選会(長岡市)

3月9日(土)

国体予選会(長岡市)

3月20日(祝)

第57回白根剣道大会

(白根カルチャーセンター)

3月24日(日)

飛燕旗争奪剣道大会(燕市)

あとがき

☆ 平成24年度の全国規模の剣道大会における本県選手の活躍度は、中高校生等若手選手の活躍が中心でした。

燕中学校女子剣道部の全中大会三連覇の偉業達成を始め、同大会個人では、小池中学校の熊倉選手が準優勝を果たしました。一方、高校生では、本県で開催されたインターハイで、新潟商業高校女子が団体・個人で3位に、同メンバーでの国体も少年女子で見事3位

に入り、県民の期待と信頼に応えました。

改めて、選手はもとより監督等指導者並びに学校関係者・保護者に敬意と感謝を申し上げます。

その他、今回初めて全日本都道府県対抗少年剣道大会に出場した、小学生の健闘ぶりも見事であり、今後のジュニア育成・強化の面でも大収穫でした。また、全日本剣道選手権大会には、本県代表として久しぶりに20代前半で、しかも警察官以外で出場し、大活躍した木村友哉選手に拍手を送りたいと思います。反面、地力と稽古量に勝る県警特錬生の奮起を期待するとともに、今後は一層切磋琢磨し、県剣道界の発展に寄与していただきたいと念じております。

☆ 本誌紹介の「全剣連後援指導者講習会」は、基本技等の習得に大変有意義なものでした。

それ以上に印象的かつ衝撃的だったのは、全剣連派遣講師による講話での『剣道高段者(八段?六段以上クラスか?)と言っても一般社会では通用しないのに・・・』と諭された言葉に納得された様子の受講者が多かったと思えました。

しかし、特に聞いてもらいたい方々は、その場におられなかったようでしたが・・・
日頃から「錯覚」に注意したいものです。

(本間理事長記)

私の夢は、剣道仲間(老若男女)が増え、厳しく楽しい稽古がいつまでも出来るようにと思っています。この「夢をいつまでも」持ち続けたいと思っています。

その為には、私は「やる気」「勇氣」「あきらめない」の気持ちを維持出来るように、自分自身の精神力、判断力、行動力等が発揮出来るように、体力低下の防止などに注意をした運動、規則正しい日常生活、健康に注意していきたいと思っているこの頃です。

(反省老剣士)

秋の審査会が終了。日本最難関と言われる八段審査では、1%の合格率が更に下がり、何と0.5%となった。

「もう八段つて神の領域ですね」とは某氏曰く。そんな難関を、小生の同期生が一人合格しました。彼は神ではありません。たゆまざる精進の賜物なのでしょね。人間をそこまで昇華させる剣道つて、改めて凄いものなんだなあって思います。でも、剣道つて人間形成の道なんですよね。「実るほど頭を垂れる稲穂かな。」

(田舎侍)

※広報委員会では、地域短信コーナーの情報を募集しています。

支部同士での合宿交流や稽古会、地域に根差した伝統の大会など、各支部連盟の活動状況などをお知らせください。

※次回発行は、3月下旬の予定です。